

もみじの名勝「花筐公園」と地域活性化

花筐公園保勝会
山田昭栄

1. 活動方針・目的

- 当会は花筐公園を代表する県指定天然記念物「薄墨桜」とその他の樹木(桜・もみじ等)の保護・育成、植栽を行い自然と景観を保全する。
- 名勝「花筐公園」には、継体天皇にまつわる歴史・文化・史跡が多く、また伝承も多く残されておりこれらを次世代に確実に残していく。
- 上記目的の達成には行政や地元住民の理解と協力が不可欠であり、我々は公園内の清掃、施設の修繕から草木の植栽はもちろんのこと、桜祭り、もみじ祭り等のイベントに積極的な協力を行なっていく。

2. 活動内容

- 花筐公園保勝会は昭和42年に地元の有志により設立された。
現在会員数 58名(男子46名・女子12名)
- 桜・もみじの植栽・育成管理、その他の草木の管理
岐阜県本巣市と姉妹都市交流会をはじめ各地の視察研修を行なっている。
 - 公園内のベンチ等の施設や看板の修理・遊歩道の整備等を行政当局と連携しておこなっている。
近年は特に桜並びにもみじの名所と歴史文化を絡めた観光PRを強力に推し進めています。
 - 平成12年 もみじの美観を地域に発信する「第1回花筐もみじ祭り」を立上げましたが、その後、もみじの掘り出しに全力を挙げてPRに取り組んだ結果、昨年の「第8回もみじ祭り」は県下一のもみじの名所花筐公園として、広く認識されつつあり県外から多くの観光客が訪れるようになって来ました。
 - 平成17年「うららの木運動」植樹祭 協賛者245人 協賛金600万円
 - 平成19年 観光ボランティア「はながたみ語り部の会」立上げ。
「花筐の四季」写真展もみじ祭りと同時に開催 花筐公園の四季の写真59枚展示
 - 越前花筐薪能を定例開催 謡曲「花筐」にちなんで隔年8月の第1日曜日に開催、今年は演者野村万作・万才を迎え第8回目となる。

3. 今後の課題

花筐公園のグレードアップ、観光地化には、公園の整備やPRまで幅広い活動分野が必要ですが、ITに強い人材、観光ボランティアなどに適した人材、また、公園整備が出来る人材、広報活動に長けた人材など適材な会員の確保が必要となってきている。また、諸活動は原則ボランティア精神で行なうことが大事ではありますが、活動資金などそれだけでは限界もある。

結びに、いろいろな課題が山積ですが、花筐公園の四季折々メリハリのある美しい自然を先ず市民の方々に関心を持って頂くことが、諸問題の解決につながるのではないかと感じております。今後の広報活動については花筐自治振興会(行政)と協力、協議しながら市民の理解と協力を得るべく努力していきたいと考えております。

もみじの名勝「花筐公園」と 地域活性化

花筐公園保勝会
発表者 山田 昭栄

花筐公園保勝会

はじめに「花筐」の由来



花筐小学校の校歌をお聞き下さい

1. **大迹の皇子の当時に かたみに植ゑし花筐**
おおとのみこの そのかみに かたみに うえし はながたみ
千代へし今も花の香は 教えの庭にかをるなり
ちよえし いまも はなのかわ おしえの にわに かをるなり
2. **学びの子等のいそしみて 研く心の怠らず**
まなびの こらの いそしみて みかく こころの おこたらず
皇子の恩恵を思ひなば ともに挿頭せよこの花を
みこの めぐみを おもいなば ともに かさせよ このはなを

「花筐」の由来」と花筐小学校校歌

- 大迹の皇子(継体天皇即位前の名)が形見に残された「筐(かたみ)の桜」伝説が基になり、後の室町時代に世阿弥元晴が謡曲「花筐」を創作したことで定着した。
- 1500年を経た今も継体天皇にかかわる文化が生活の中に継承されています。今を預かっている私たちは数々の文化遺産・伝承を遺してくれた偉人・先人に感謝し、次の世代に歴史をつないでいこうと歌っています。

この校歌は花筐公園保勝会の基本的な活動方針と目的を示しています。

花筐公園保勝会

花筐公園は継体天皇縁の伝統文化の宝庫(1)

■伝統文化とは？

1. 蓬萊祀 伝統神事 (国の選択無形民俗文化財)
毎年2月11日に継体天皇が樟葉の宮で即位したことを祝って行う祭りです。[蓬萊祀](#)
2. 堂の餅 伝統神事10月13日に継体天皇が玉穂の宮に遷都したことを祝って行なう祭りです。[堂の餅](#)
3. 謡曲「花筐」 600年ほど前、能楽の祖、観阿弥の子で天才的な能役者・作者といわれた世阿弥元晴が創作した謡曲です。[謡曲「花筐」](#)
花筐小学校には「謡曲クラブ」があり稽古が行われています。
4. 「薄墨桜」継体天皇の形見の桜、継体天皇形見の桜と伝わっている。[薄墨桜](#)



謡曲「花筐」



薄墨桜



堂の餅



蓬萊祀

花筐公園保勝会

花筐公園は継体天皇縁の伝統文化の宝庫(2)

1. 岡太神 起源は1500年以前
当神社には県下で唯一継体天皇に関する伝統神事「蓬萊祀」「堂の餅」が残っています。[岡太神社](#)
2. 皇子ガ池 継体天皇の子・27代安閑・28代宣化天皇の産湯に使ったと伝わる池
3. 佐山姫公園 佐山姫の御所跡
4. 皇子の森 大迹の皇子の宮居があったとされる所



岡太神社



皇子ガ池



見事なもみじ



佐山姫公園

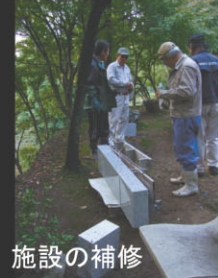
花筐公園保勝会

活動
内容

こんなことやってます

主な事業

1. 薄墨桜とその他の桜・もみじの植樹・育成管理
2. 公園の清掃・施設の修理・案内板等の補修
遊歩道の清掃と整備
3. 観光ボランティア「はながたみ語り部の会」活動
(会員数19名)・研修
4. 視察研修 昨年は岐阜県本巣市の淡墨桜の保全
管理等について研修会開催(20名参加)



施設の補修



植樹作業



観光ボランティア

花筐公園保勝会



視察研修

やってきた あんなこと こんなこと

最近の主な事業

- 平成12年第1回もみじ祭り開催～平成19年第8回
- 平成17年「うららの木運動」桜ともみじの成木30本の他、樺等
275本を植樹 協賛者245名 協賛金600万円余り
- 平成18年豪雪被害の桜補修・ほか毎年春の手入れ
- 平成19年継体天皇即位1500年記念祭に協力
「花筐の四季」写真展 入場者800名
- はながたみ語り部の会立上げ会員数19名
- 近年の植樹実績 桜 200本 もみじ300本
- 自生の草花の保護・植栽
- 国の登録記念物石碑を寄贈
- 継体天皇即位1500年記念イベント参加
越の都伝統文化奉納祭

「花筐の四
季」写真展↓



越の都伝統文化奉納祭↓



うららの木記念碑↓



恒例の主なイベント

- 花筐公園を愛する日の清掃(市民多数参加) 年2回
- はながたみ春祭り(4月)
- はながたみもみじ祭り(11月)
- 越前花筐薪能(今年8月10日第8回目開催予定)

花筐公園保勝会



薪能

きっかけ

もみじを掘り出せ

切って事の重大さに気づく

十数年前、桜のエリアを増やそうと雑木の伐採をしたところが、伐採した樹木の中に樹齢3、40年と思われる貴重なもみじの木が数本含まれていました。



何故？ 市民の声で、山にはもみじの木が非常に多い事に改めて気がつきましたが後の祭りでした。

今も残っている切り株は失敗の教訓として語られています。

一念発起、もみじを掘り出して秋の目玉にしようと雑木の伐採を進めました。同時に、市民にも素晴らしい「もみじ」を堪能して頂こうと「もみじ祭り」を自費で立上げました。それ以来一貫して努力して今日に至っていますが、

その成果は、来園し書き残した1000人あまりの観光客の声に凝縮されてますのでその中の一部を見て下さい。

主な新聞記事抜粋

- H12年 花筐公園を紅葉の名所に
- H12年 秋の花筐公園の魅力を知って
- H16年 福田さん全国表彰受賞
- H17年 花筐公園の桜を救おう
- H18年 遊歩道など整備
- H18年 うららの木運動
- H19年 名物語り部小林さん
- H19年 国の登録記念物に花筐公園
- H19年 もみじ祭りに併せ花筐の美展(宝展示・写真展・書家・画家の遺作展)開催

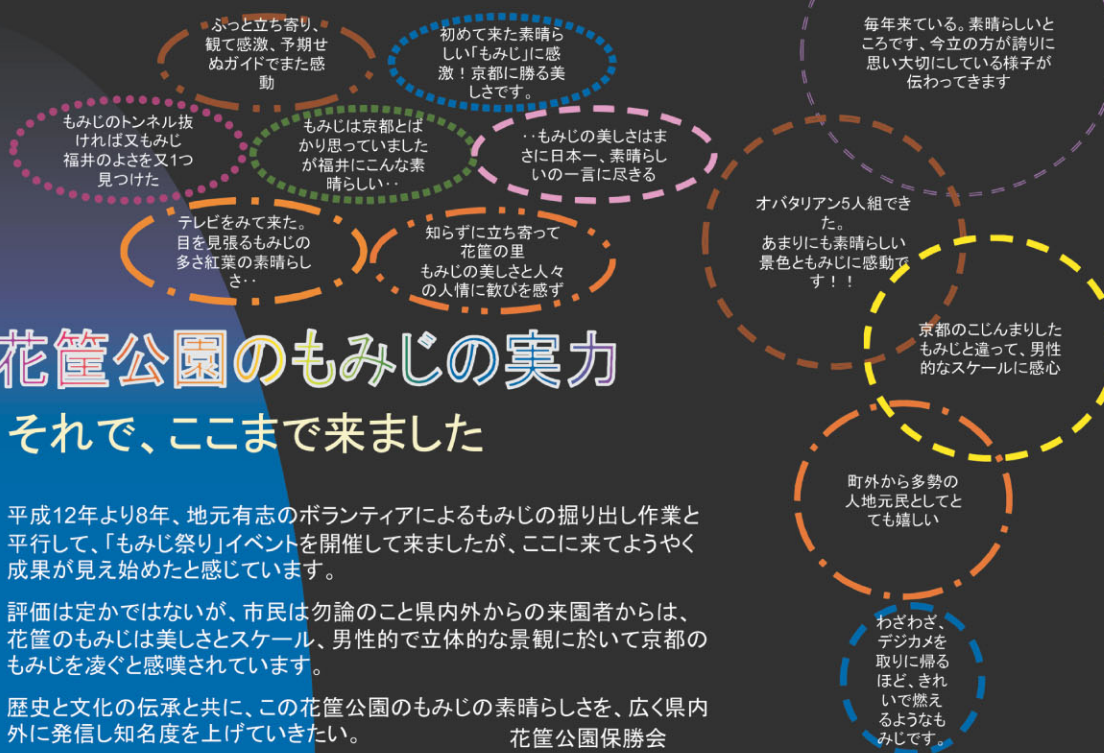
新しい企画

魅力いっぱい「春もみじ」

新緑のもみじを売り出す。

花筐公園保勝会

○観光客の感動の一言です



花筐公園のもみじの実力

それで、ここまで来ました

平成12年より8年、地元有志のボランティアによるもみじの掘り出し作業と平行して、「もみじ祭り」イベントを開催して来ましたが、ここに来てようやく成果が見え始めたと感じています。

評価は定かではないが、市民は勿論のこと県内外からの来園者からは、花筐のもみじは美しさとスケール、男性的で立体的な景観に於いて京都のもみじを凌ぐと感嘆されています。

歴史と文化の伝承と共に、この花筐公園のもみじの素晴らしさを、広く県内外に発信し知名度を上げていきたい。
花筐公園保勝会

課題

これから何をどうするか

歴史、文化、伝承については
今は我々が持っている歴史のたすきを次の世代にそのままわたすことが大事であると考えています。

観光受け入れ施設の整備とPR活動
観光客の接待環境の充実、観光ボランティアのレベル向上とPRを強化したい。

会員の若返り(後継者)と人材の確保が必要になっている。

新緑の「春もみじの魅力」を発信していく。

断然多い自然のもみじを生かし、「新緑のもみじ」の掘り起こしを新たな取り組みとして企画しています。

住民の協力と地域活性化

子や孫の世代に花開く夢のある作業やイベントであることを分っていただくことで、活動に参加する事の意味を理解していただけるのではないかと考えています。決して好きな者だけの趣味で行なっているわけではないことを理解していただくことが大事なことだと思います。多く住民の方々の理解と協力がどれだけ得られるか、参加して頂けるかにかかっていると考えていますので、この点を外さない活動をして地域活性化につなげて行きます。

The END

花筐公園保勝会